

近畿厚生局長 殿

神戸大学医学部附属病院長
杉村和朗



神戸大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成 24 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	146 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	373 人	304 人	640.0 人	看護補助者	2 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	15 人	22.7 人	34.2 人	理学療法士	13 人	臨床検査技師	66.6 人
薬剤師	51 人	10 人	61.0 人	作業療法士	5 人	臨床衛生検査技師	1 人
保健師	0 人	0 人	0.0 人	視能訓練士	10.3 人	その他	0 人
助産師	36 人	0 人	36.0 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧	0 人
看護師	855 人	25 人	873.8 人	臨床工学技士	27 人	医療社会事業従事者	6.7 人
准看護師	0 人	0 人	0.0 人	栄養士	0 人	その他の技術員	29 人
歯科衛生士	3 人	3 人	6.0 人	歯科技工士	1 人	事務職員	211.5 人
管理栄養士	6 人	5 人	11.0 人	診療放射線技師	44 人	その他の職員	7 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	767.8 人	12.7 人	780.5 人
1日当たり平均外来患者数	1,931.8 人	98.2 人	2,030.0 人
1日当たり平均調剤数	1,401.10 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	肝腫瘍に対する腹腔鏡(補助)下肝切除	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 腹腔鏡下肝切除術は、腹腔鏡を用いることにより、従来の開腹による肝切除術よりも低侵襲の手術を行うことができるものである。			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 手術支援ロボット(da Vinci)を用いた腹腔鏡下腎部分切除術は、低侵襲であり、癌の根治性、腎機能温存について良好な結果が得られるものである。			
医療技術名		取扱患者数	人
医療技術名		取扱患者数	人
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	118人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	74人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・重症筋無力症	95人	・原発性胆汁性肝硬変	41人
・全身性エリテマトーデス	330人	・重症急性膵炎	15人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	67人
・再生不良性貧血	25人	・混合性結合組織病	50人
・サルコイドーシス	65人	・原発性免疫不全症候群	8人
・筋萎縮性側索硬化症	27人	・特発性間質性肺炎	10人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	234人	・網膜色素変性症	23人
・特発性血小板減少性紫斑病	49人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	63人	・肺動脈性肺高血圧症	38人
・潰瘍性大腸炎	93人	・神経線維腫症	25人
・大動脈炎症候群	41人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	22人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	30人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	40人
・脊髄小脳変性症	80人	・ライソゾーム病	8人
・クローン病	43人	・副腎白質ジストロフィー	3人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	22人	・脊髄性筋萎縮症	6人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	115人	・球脊髄性筋萎縮症	6人
・アミロイドーシス	4人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	35人
・後縦靭帯骨化症	29人	・肥大型心筋症	24人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	16人	・ミトコンドリア病	15人
・ウェゲナー肉芽腫症	19人	・リンパ管筋腫症(LAM)	6人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	143人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	42人	・黄色靭帯骨化症	3人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	185人
	28		1,786人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

625人
2,411人

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・画像支援ナビゲーション手術	・
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	・
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	・
・超音波骨折治療法	・
・眼底3次元画像解析	・
・内視鏡下小切開泌尿器手術	・
・画像支援ナビゲーションシステムによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	・
・腋窩リンパ節郭清術の実施前におけるセンチネルリンパ節の同定及び生検	・
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定及び転移の検索	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー血管形成用カテーテルによるもの)	・
・遺伝学的検査(色素性乾皮症)	・
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・
・画像等手術支援加算	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週4日
剖 検 の 状 況	剖検症例数 26 例 / 剖検率 10.00%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨を要とする多臓器恒常性維持機構の解明	片山 義雄	血液内科	6,500,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験	坂口 一彦	糖尿病・内分泌内科	1,800,000	補 委 財団法人国際協力医学研究振興財団
がん放射線・粒子線治療用体内吸収性スプーサーの開発	福本 巧	肝胆膵外科	2,858,627	補 委 公益財団法人新産業創造研究機構
自動化による術中高速組織診断のための新型免疫組織染色装置の開発	伊藤 智雄	病理診断科	1,901,508	補 委 公益財団法人あきた企業活性化センター
遠隔転移を有する膵癌に対するS-1/Leucovorin (LV) 療法の第II相試験	奥野 達哉	消化器内科	360,738	補 委 公益財団法人静岡県産業振興財団
感染性心内膜炎における至適手術時期に関する多施設共同研究JSTREAM Study-0	宮原 俊介	心臓血管外科	30,000	補 委 (社) 日本心臓血管医療フォーラム
冠血行再建術による心血管イベントリスクの減少効果を…(中略)調査研究(J-ACCESSIV)	川合 宏哉	総合臨床教育・育成学	210,000	補 委 公益財団法人循環器病研究振興財団
筋ジストロフィーの治験拠点整備, 包括的診療ガイドラインの研究	竹島 泰弘	小児科	1,100,000	補 委 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
筋ジストロフィーおよび関連疾患の診断・治療開発を目指した基盤研究	戸田 達史	神経内科	1,000,000	補 委 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
小児の免疫・アレルギー疾患の発症・重症化の機序と治療法についての研究	飯島 一誠	小児科	1,000,000	補 委 独立行政法人国立成育医療研究センター
腎機能低下患者におけるS1の薬理動態試験	南 博信	腫瘍・血液内科	1,050,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
頭頸部癌に対する術後化学放射線療法を中心とする集学的治療の開発	清田 尚臣	腫瘍・血液内科	500,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
微小血管吻合術後血栓形成の危険因子解析に関する多施設共同研究	橋川 和信	形成外科	750,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
殺細胞型化学療法薬のPK/PD解析方法の臨床薬理的評価	南 博信	腫瘍・血液内科	150,000	補 委 独立行政法人国立がん研究センター
感染性疾患における大動脈外科治療の検討	大北 裕	心臓血管外科	1,000,000	補 委 独立行政法人国立循環器病研究センター
次世代シーケンサーを用いた孤発性の神経難病の発症機構の解明に関する研究	戸田 達史	神経内科学	100,000,000	補 委 厚生労働省
孤発性パーキンソン病遺伝子同定と創薬・テラーメード研究	戸田 達史	神経内科学	39,000,000	補 委 国立保健医療科学院
ワクチン基礎生産技術の向上に関する研究	森 康子	臨床ウイルス学	32,500,000	補 委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進に関する研究	荒川 創一	総合臨床教育・育成学	15,562,000	補委 厚生労働省
rasがん遺伝子産物の新規立体構造情報に基づくがん分子標的治療薬の開発	片岡 徹	分子生物学	78,000,000	補委 厚生労働省
大腸癌におけるオキサリプラチンの末梢神経障害に対する漢方薬：牛車腎気丸の有用性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較検証試験（臨床第Ⅲ相試験）	掛地 吉弘	食道胃腸外科学	79,300,000	補委 厚生労働省
レーザー消化管内視鏡治療装置の開発	東 健	消化器内科学	39,000,000	補委 厚生労働省
腎・泌尿器系の希少難治性疾患群に関する調査研究	飯島 一誠	小児科学	73,000,000	補委 国立保健医療科学院
進行頭頸部がんに対する化学放射線療法を中心とした集学的治療の開発に関する研究	清田 尚臣	腫瘍・血液内科	500,000	補委 厚生労働省
高度リンパ節転移を伴う進行胃癌の根治を目指した術前化学療法+拡大手術法の確立	黒田 大介	食道胃腸外科学	109,309	補委 厚生労働省
培養細胞感染系の確立されていない病原体の実験技術の開発と予防診断法に関する研究	勝二 郁夫	微生物学	3,500,000	補委 厚生労働省
C型肝炎を含む代謝関連肝がんの病態解明及び治療法の開発等に関する研究	勝二 郁夫	微生物学	3,000,000	補委 厚生労働省
C型肝炎ウイルスの増殖制御機構解明と創薬のための分子基盤の確立に資する研究	勝二 郁夫	微生物学	2,800,000	補委 厚生労働省
重症のインフルエンザによる肺炎・脳症の病態解析・診断・治療に関する研究	新矢 恭子	人獣共通感染症学	2,000,000	補委 厚生労働省
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	藤澤 正人	腎泌尿器科学	130,000	補委 厚生労働省
肝炎ウイルスによる肝疾患発症の宿主要因と発症予防に関する研究	堀田 博	微生物学	3,000,000	補委 厚生労働省
ウイルス性肝炎の病態に応じたウイルス側因子の解明と治療応用	堀田 博	微生物学	2,400,000	補委 厚生労働省
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	堀田 博	微生物学	1,600,000	補委 国立保健医療科学院
がん診療連携拠点病院の機能のあり方及び全国レベルのネットワークの開発に関する研究	南 博信	腫瘍・血液内科学	400,000	補委 厚生労働省
新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究	南 博信	腫瘍・血液内科学	2,800,000	補委 厚生労働省
神経皮膚症候群に関する調査研究	錦織 千佳子	皮膚科学	1,500,000	補委 国立保健医療科学院
特発性発汗異常症・色素異常症の病態解析と新規治療薬開発に向けた戦略的研究	錦織 千佳子	皮膚科学	2,000,000	補委 国立保健医療科学院

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
未分化型早期胃癌に対する内視鏡切除の有効性及び安全性に関する多施設共同研究	森田 圭紀	消化器内科学	300,000	(補) 厚生労働省 委
ワクチンにより予防可能な疾患に対する予防接種の科学的根拠の確立及び対策の向上に関する研究	森 康子	臨床ウイルス学	1,500,000	(補) 厚生労働省 委
高リスク層のHIV感染監視と予防啓発及び内外のHIV関連疫学動向のモニタリングに関する研究	荒川 創一	総合臨床教育・育成学	1,000,000	(補) 厚生労働省 委
造血幹細胞移植の有効性と安全性向上のための薬剤のエビデンスの確立に関する研究	片山 義雄	血液内科	500,000	(補) 厚生労働省 委
神経皮膚症候群に関する調査研究	苅田 典生	神経内科学	850,000	(補) 国立保健医療科学院 委
膵がん切除例に対する補助療法の向上を目指した多施設共同研究	具 英成	肝胆膵外科学	500,000	(補) 厚生労働省 委
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	高橋 裕	糖尿病・内分泌内科	2,400,000	(補) 国立保健医療科学院 委
希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究	戸田 達史	神経内科学	600,000	(補) 国立保健医療科学院 委
神経変性疾患に関する調査研究	戸田 達史	神経内科学	1,500,000	(補) 国立保健医療科学院 委
進行性腎障害に関する調査研究	西 慎一	腎・血液浄化センター	1,000,000	(補) 国立保健医療科学院 委
アミロイドーシスに関する調査研究	西 慎一	腎・血液浄化センター	1,500,000	(補) 国立保健医療科学院 委
脊髄性筋萎縮症の臨床実態の分析、遺伝子解析、治療法開発の研究	西尾 久英	疫学	800,000	(補) 国立保健医療科学院 委
加齢黄斑変性に対する個別化医療実現のための前向き臨床研究にもとづくゲノムワイド関連解析	根木 昭	眼科学	1,000,000	(補) 厚生労働省 委
原発性高脂血症に関する調査研究	平田 健一	循環器内科学	1,050,000	(補) 国立保健医療科学院 委
大規模災害における循環器病診療の体制と手法の確立に関する多施設共同研究	平田 健一	循環器内科学	1,400,000	(補) 厚生労働省 委
造血器悪性腫瘍及び転移性がんを高頻度に異常を来している遺伝子を標的とした新たな治療法の開発に資する研究	的崎 尚	生化学・分子生物学	5,000,000	(補) 厚生労働省 委
先天性サイトメガロウイルス感染症対策のための妊婦教育の効果の検討、妊婦・新生児スクリーニング体制の構築及び感染新生児の発症リスク同定に関する研究	山田 秀人	産科婦人科学	6,000,000	(補) 厚生労働省 委
血液検体のゲノム・エピゲノム・トランスクリプトーム解析に基づく、膵がん・肺がん等の高危険度群の補足のためのバイオマーカーの同定	吉田 優	消化器内科学	9,250,000	(補) 厚生労働省 委
被災地の再生を考慮した在宅医療の構築に関する研究	橋本 正良	プライマリ・ケア医学	1,000,000	(補) 厚生労働省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
B型肝炎ウイルスの感染複製機構の解明に関する研究	堀田 博	微生物学	10,000,000	(補委) 厚生労働省
高度リンパ節転移を伴う進行胃癌の根治を目指した術前化学療法+拡大手術法の確立	掛地 吉弘	食道胃腸外科学	290,691	(補委) 厚生労働省
標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	藤澤 正人	腎泌尿器科学	400,000	(補委) 厚生労働省
大量出血症例に対する最適輸血療法に関する研究	大北 裕	心臓血管外科学	450,000	(補委) 厚生労働省
緩和医療に携わる医療従事者の育成に関する研究	木澤 義之	先端緩和医療学	2,324,846	(補委) 厚生労働省
感染・炎症によるゲノム不安定性と発がん機構	東 健	消化器内科	19,300,000	(補委) 文部科学省
脂肪蓄積制御の生理と病理における遺伝子転写ネットワーク解析	小川 渉	糖尿病・内分泌内科	16,900,000	(補委) 文部科学省
パーキンソン病および認知機能関連分子とパーソナルゲノム解析	戸田 達史	神経内科	29,300,000	(補委) 文部科学省
骨組織による神経を介したリンパ球分化増殖制御機構の解明	片山 義雄	血液内科	5,400,000	(補委) 文部科学省
福山型筋ジストロフィーおよび類縁疾患の分子標的治療と病態解明	戸田 達史	神経内科	12,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
椎間板変性と関連する腰痛性疾患の病態の解明と最小侵襲治療システムの開発	西田 康太郎	整形外科	2,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
遺伝子医療の推進における薬剤師の戦略的活用	平井 みどり	薬剤部	3,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
原発性肝癌に対する陽子線と炭素イオン線の無作為比較試験	村上 昌雄	放射線医学	3,600,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
眼圧依存性視神経障害の発症メカニズムの解明と他覚的解析方法の確立	根木 昭	眼科学	2,800,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
ヘリコバクター属細菌感染と消化器疾病構造の疫学調査研究	東 健	消化器内科	4,600,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
造血制御中枢としての骨組織の評価	片山 義雄	血液内科	3,900,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
膝前十字靭帯再建術における血管幹細胞応用の可能性	黒坂 昌弘	整形外科	4,000,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
アレルギー性及び光アレルギー性評価の多項目代替試験法の開発	尾藤 利憲	皮膚科	900,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
鍼刺激による骨格筋幹細胞の増殖誘導を利用した治療法の開発	高岡 裕	医療情報部	700,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
C型肝炎ウイルス産生調節機構の研究	勝二 郁夫	附属感染症センター	600,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
高比重リポ蛋白による心保護作用についての検討	川合 宏哉	総合臨床教育・育成学	900,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
新規アディポカイン、ケマリンの糖尿病発症における役割の解明	高橋 路子	糖尿病・内分泌内科	700,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
均衡型および不均衡型転座の解析に基づく造血管腫瘍の発症機序の解明	山本 克也	腫瘍・血液内科	100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
関節リウマチにおけるマイクロRNAによるインテグリンの制御に関する研究	河野 誠司	検査部	1,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
悪性黒色腫、乾癬、円形脱毛症に対するIL-27の治療的有用性についての基礎的検討	永井 宏	皮膚科	500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
自殺行動に関連したメタボロミクスによるバイオマーカーの探索	笹田 徹	精神医学	900,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
多軸拡散テンソル画像による統合失調症の画像解析の検討	小西 淳也	衛生学	700,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
塩酸ドネベジルを用いた放射線治療後の高次脳機能低下症に対する新規治療法の開発	佐々木 良平	放射線腫瘍科	1,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
腫瘍抗原特異的CD4+T細胞の効率的な誘導と生体内維持による癌免疫療法の確立	山下 公大	食道胃腸外科	1,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
肝門部胆管癌に対する吸収性スぺーサーを用いた手術と粒子線による2段階治療	福本 巧	肝胆膵外科	1,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
高輝度放射光のマイクロビーム照射が脳腫瘍を選択的に壊死させる機序について	近藤 威	脳神経外科	1,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
多点節接触力覚呈示脳モデルの基礎的研究	藤田 敦史	脳神経外科学	1,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
グリオーマの予後を規定するマイクロRNAの同定と新たな治療戦略の構築	篠山 隆司	脳神経外科	700,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
ニューラルネットワーク制御による多指機構を有する5指駆動型筋電義手の開発	陳 隆明	整形外科	900,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
生体吸収性スキャフォールドによる細胞培養移植を要しない肩腱板再生	国分 毅	整形外科学	600,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
幹細胞動員因子を用いた関節軟骨靱帯再生 - 幹細胞を基盤とした再生医療 -	黒田 良祐	整形外科学	1,000,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
ハウ素中性子捕捉療法を用いた明細胞肉腫の治療方法の開発	藤本 卓也	整形外科	800,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
妊娠中の吸入麻酔薬暴露が出生後の仔の脳神経発達に及ぼす影響	植木 正明	麻酔科	500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
リンパ管内皮細胞の分子生物学的解析～プロスタノイドレセプターを巡って～	野村 正	形成外科	800,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
顔面神経—舌下神経クロスリンク型神経移植術における神経回路再構築の機序を探る	橋川 和信	形成外科	1,000,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
末梢神経損傷後の脊椎マイクログリアで増加するP2Y受容体の疼痛への関与	柳本 富士雄	麻酔科学	900,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
新規インスリン分泌能評価法の開発およびその遺伝因子との関連に関する研究	廣田 勇士	糖尿病・内分泌内科	900,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
呼吸器機能画像における低線量画像法の開発	神山 久信	血管内治療センター	700,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
A d - p 5 3 遺伝子治療併用粒子線治療に関する基礎的研究	宮脇 大輔	放射線科	1,000,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
骨軟部肉腫に対する長寿因子SIRT1を標的とした分子標的治療への応用	河本 旭哉	整形外科	1,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
新生児期マウスへの吸入麻酔薬暴露が脳神経栄養因子に与える影響	森下 淳	麻酔科	500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
無細胞性真皮マトリックス上での複合粘膜培養法を応用した新しい癌浸潤モデルの開発	重田 崇至	歯科口腔外科	700,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
mTOR依存性 β 細胞量増加と自己免疫促進をきたすNODRhebでの自己免疫制御	佐々木 弘智	総合内科	1,200,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
赤外レーザーによる乳頭温存結石治療の開発研究	早雲 孝信	消化器先端医療開発部門	1,300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
MR内視鏡システムを用いた消化管癌に対する新たな治療支援技術の開発	森田 圭紀	消化器内科	1,300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
C型肝炎ウイルス感染による癌化誘導機構の解明	デン リン	附属感染症センター	1,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
視覚障害者の患者が利用可能な病院内の触地図提供に向けた研究	花岡 澄代	看護部	1,200,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
遺伝子解析とプロテオーム解析を駆使したアジア型がんに対するキナーゼ阻害薬の個別化	向原 徹	腫瘍センター	1,400,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
プロテオーム、メタボローム解析による抗がん薬至適投与方法の確立	南 博信	腫瘍・血液内科学	1,700,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
1型糖尿病免疫寛容モデルでの樹状細胞の病原体感知センサーの役割と臨床応用の検討	安田 尚史	総合内科	800,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
質量分析計を用いた食道がん早期診断法の開発	豊永 高史	光学医療診療部	1,400,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
SRp20が制御する選択的スプライシングの異常と発がん	棚橋 俊仁	消化器内科	500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
スフィンゴリン脂質シグナル制御による新しい気管支喘息治療へのアプローチ	小林 和幸	呼吸器内科学	1,400,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
新規CAKUT原因遺伝子の発現・機能解析と包括的遺伝子診断システムの構築	飯島 一誠	小児科学	1,300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
下垂体機能低下症における新規自己抗体の同定と臨床応用	井口 元三	糖尿病・内分泌内科	1,400,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
好酸球増多症候群に対する新しいバイオマーカーに基づいた診断と標準治療法の確立	定 明子	血液内科	1,500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
マイクロRNAによる新規関節リウマチ治療法の開発	中町 祐司	医療技術部 臨床検査部門	1,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
筋ジストロフィーに対するアンチセンス治療における線維化因子の動態に関する研究	竹島 泰弘	小児科学	1,200,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
エクソスキッピング誘導効率を規定するシス因子の解明	八木 麻理子	小児科学	1,300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
紫外線による皮膚発癌、皮膚炎症、白内障及び乾癬におけるホスホリパーゼCεの役割	岡 昌宏	皮膚科学	1,300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
体内空間創造による難治癌に対する新規放射線治療法の開発	村岡 修	放射線腫瘍科	1,500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
尾側膵切除における術前内視鏡的膵管ステント留置術の有用性	松本 逸平	肝胆膵外科	500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
癌宿主相互作用による肺癌の浸潤・転移におけるNECL5の役割の研究	眞庭 謙昌	呼吸器外科学	1,300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
変形性関節症の治療を目的とした軟骨細胞のアポトーシス制御機構の解明	西山 隆之	整形外科	800,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
尿路上皮癌の悪性進展における上皮間葉転換の分子生物学的検討	村蒔 基次	泌尿器科	1,000,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
生殖・産科異常におけるリラキシンと免疫異常の関連解明	山田 秀人	産科婦人科学	1,400,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
卵巣癌において異常活性化したリン酸化酵素の同定とその特異的阻害剤の開発	須藤 保	肝胆膵外科	1,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
音響外傷性難聴における細胞死制御メカニズムと新たな治療法開発	山下 大介	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
咽頭癌治療における新たな嚥下リハビリテーション、嚥下評価法の開発	斎藤 幹	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
加齢黄斑変性の病態特異的な遺伝子多型の同定と個別化治療への応用	本田 茂	眼科	1,200,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
視神経変性における網膜・視神経のアクアポリンの局在変化と網膜神経節細胞死への関与	中村 誠	眼科学	1,300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
未熟児網膜症におけるアドレナリン α 1受容体の役割解明と制御による治療法の開発	塚原 康友	眼科学	1,200,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
点字文書提供システムを用いた病院内運用体制の確立	松浦 正子	看護部	1,100,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
栄養感知システムmTORシグナルの分子基盤の解明と分子栄養学への展開	原 賢太	総合内科	1,100,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
異質性の認識と個別対応を備えたweb研修システムの開発	平井 みどり	薬剤部	500,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
新規アディポカイン、ケマリンによる褐色脂肪調節機構の解明	高橋 裕	糖尿病・内分泌内科	800,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
革新的実時間的自動手術支援ロボットナビゲーションシステムの開発	杉本 真樹	消化器内科学	1,000,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
高濃度吸入麻酔薬による胎児麻酔後の脳神経発達障害に及ぼす影響とその機序の解明	魚川 礼子	麻酔科	800,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
婦人科腫瘍におけるメタボローム解析と関連遺伝子発現・遺伝子多型に関する検討	森田 宏紀	周産母子センター	1,300,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
網羅的プロテオーム解析による頭頸部癌早期診断法の開発	丹生 健一	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,300,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
光照射による創傷治癒のメカニズムを解明する	寺師 浩人	形成外科	1,300,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
メタボロミクスによる炎症性腸疾患の評価とその治療候補因子の同定	西海 信	消化器内科学	1,000,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
変形性関節におけるオートファジーの役割	松下 雄彦	整形外科	1,500,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
甲状腺発癌過程でSNX蛋白が果たす役割の解明	原 重雄	病理診断科	800,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
緩和ケアチームの介入が悪性腫瘍患者の生活の質にもたらす効果に関する研究	坂下 明大	腫瘍センター	700,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
動脈硬化形成における制御性T細胞の関与の解明と新規動脈硬化予防法・治療法の開発	佐々木 直人	循環器内科学	1,200,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
Dysfunctional HDLが冠動脈疾患の進展退縮に及ぼす影響の解明	杜 隆嗣	立証検査医学	1,500,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
高比重リポ蛋白の質を規定するバイオマーカーの検索	安田 知行	循環器内科	1,500,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
家兔における血管内皮リパーゼ阻害・過剰発現の血清脂質と動脈硬化に及ぼす効果の検討	孫 麗	循環器内科学	1,500,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
気管支喘息の母子間垂直伝播における免疫分子の輸送機構の解明	中田 恭介	呼吸器内科	1,300,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
リンパ球活性化マーカーTFLの免疫制御システムの解明	皆川 健太郎	総合内科	1,300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
新規非翻訳RNAのクローニングとグルタミン酸レセプター遺伝子への影響に関する研究	栗野 宏之	小児科	1,400,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
ヒト未熟児網膜症発症における神経軸策誘導分子群の遺伝子変異に関する研究	三輪 明弘	周産母子センター	1,000,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
子宮内胎児発育遅延児における長寿遺伝子発現に関する研究	森岡 一朗	周産母子センター	1,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
子宮内胎児発育遅延児の胎盤形成遺伝子(Rtl1)メチル化異常に関する研究	藤岡 一路	小児科	1,200,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
自殺者死後脳におけるストレス蛋白質CRFと関連遺伝子の発現変化	菱本 明豊	精神医学	1,500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
放射光を用いた微小グリッド高精度格子状照射による難治癌治療の基礎的研究	西村 英輝	放射線腫瘍科	1,400,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
放射光微小ビームを用いた新規放射線治療の基礎物理的研究	中山 雅央	放射線腫瘍科	1,300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
放射線抵抗性腫瘍におけるNF-κB活性化の意義とその臨床応用に向けての研究	吉田 賢史	放射線腫瘍科	1,500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
3テスラMRIを用いた超高B値拡散強調画像による前立腺癌検出システムの確立	北島 一宏	放射線部	700,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
悪性グリオーマに対する神経線維追跡放射線治療の検討	上原 和之	放射線腫瘍科	700,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
肝硬変モデルにおける切除後肝再生機序の解明	蔵 満 薫	肝胆膵外科	1,400,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
iPS細胞を用いた椎間板再生医療と生体内iPS細胞バンク作成への挑戦	角谷 賢一朗	リハビリテーション部	1,500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
P21発現制御による変形性関節症における関節軟骨再生への挑戦	林 申也	整形外科	900,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
Parathyroid hormoneの難治性骨折・骨癒合不全治療への応用	新倉 隆宏	リハビリテーション機能回復学	1,000,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
腎細胞癌におけるAurora-Aの役割の解明および新規治療の開発	寺川 智章	泌尿器科	1,700,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
尿路感染症由来緑膿菌臨床株の薬剤耐性機構とその迅速診断法の研究	松本 穰	泌尿器科	800,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
ヒトセルトリ細胞株の樹立と抗癌剤がおよぼす造精機能障害の分子メカニズムの解明	山口 耕平	腎泌尿器科学	900,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
VAV1-Rac1-PAK1経路の制御による卵巣癌の新たな治療戦略の開発	若橋 宣	病理診断科	700,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
非受容体型チロシナーゼ Syk の子宮内膜脱落膜化に与える影響の解析	陌間 亮一	産科婦人科	1,300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
糖尿病が内耳の加齢変化に与える影響とそのメカニズムの解明	藤田 岳	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,400,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
質量分析計を利用した嗅覚障害の病態解明	土井 清司	耳鼻咽喉科 頭頸部外科学	1,000,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
頭頸部癌に対する粒子線治療効果についての研究	森本 浩一	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,600,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
各種視神経症における軸索輸送の制御蛋白の関与	金森 章泰	眼科	1,300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
細胞間接着複合体に着眼した癌新生リンパ管の特質性の解明	明石 昌也	形成外科	900,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
消化管内 phased array コイルによる高分解能 MR 撮像とプロトン MRS	松岡 雄一郎	消化器内科	1,300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
水痘帯状疱疹ウイルス新規遺伝子産物を標的とした潜伏感染機構の解明	定岡 知彦	附属感染症センター	1,500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
ウイルスの変異率を下げるための研究	新矢 恭子	附属感染症センター	2,700,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
医療文書の自動点字翻訳を実現する辞書と固有表現点訳システムの研究開発	菅野 亜紀	医療情報部	2,400,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
鍼通電で発見した Aig1 タンパク質の機能と鍼治療メカニズムの解明	大田 美香	医療情報部	1,200,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
C型肝炎ウイルスによる糖代謝異常の分子機序の解明	堀田 博	附属感染症センター	1,900,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
血管内皮リパーゼの Dysfunctional HDL と動脈硬化の成因に及ぼす影響	石田 達郎	循環器内科	1,600,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
腸内細菌叢を変化させて腸管免疫修飾を介する新規動脈硬化予防法の開発研究	山下 智也	循環器内科学	1,600,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
気道アレルギー免疫応答に対するスフィンゴリン脂質系の役割の解明	西村 善博	呼吸器内科学	2,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
腎移植後急性拒絶反応の新規診断法の開発	西 慎一	腎・血液浄化センター	1,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
FSP27 による臓器間の脂肪分布変化がインスリン感受性を制御するメカニズムの解明	田守 義和	糖尿病・内分泌内科	1,600,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
運動による糖脂質代謝改善機構の解明と生活習慣病に対する新規運動効果模倣薬の探索	細岡 哲也	糖尿病・内分泌内科	1,500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
神経軸索ガイダンス分子を用いた新規白血病治療法の開発	松岡 広	腫瘍・血液内科学	1,600,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
メタボロームに着目した膠原病の新規治療法および診断法の開発	三枝 淳	免疫内科	1,500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
福山型先天性筋ジストロフィーの治療法の確立に関する研究	谷口 真理子	小児科学	2,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
チオレドキシンとその誘導物質による皮膚炎治療薬の開発に関する研究	福永 淳	皮膚科学	1,400,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
定量的コンピュータ断層血流評価とオミックス情報による肺癌の標準治療効果予測	大野 良治	機能・画像診断学部門	1,800,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
超高線量率X線照射の生体反応と医学利用に関する基礎的検討	岡本 欣晃	放射線腫瘍科	1,400,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
癌幹細胞マーカーCD133に着目した胆道癌の抗癌剤耐性解明と新規治療への応用	味木 徹夫	地域医療ネットワーク学	2,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
間葉系幹細胞を利用した膵島移植によるI型糖尿病治療の確立	浅利 貞毅	肝胆膵外科	1,400,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
薬物的大動脈瘤治療法開発に関する基礎的研究	岡田 健次	心臓血管外科学	1,200,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
脳虚血のメタボローム解析：脳虚血前後代謝変化の包括的解析によるバイオマーカー探索	細田 弘吉	脳神経外科学	2,100,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
骨髄間質細胞移植による下垂体機能再生の研究	谷口 理章	脳神経外科	1,500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
椎間板ヘルニアにおける侵害受容性疼痛と神経障害性疼痛のメカニズムの解明	高田 徹	整形外科	1,300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
椎間板変性に由来する疼痛発生メカニズムの解明	前野 耕一郎	整形外科学	1,500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
メカレノセプターをターゲットとした椎間板変性予防医療の開発	土井田 稔	整形外科	1,300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
腎細胞癌のチロシンキナーゼ阻害剤に対する耐性獲得機構の解明と新規治療法の開発	三宅 秀明	腎泌尿器科学	1,200,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
メタボロミクスによる音響外傷性難聴の病態解明と新たな治療法の開発	長谷川 信吾	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
RNA干渉法による血液内耳関門の薬物透過性の調節	谷本 均	耳鼻咽喉・頭頸部外科	2,500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
脂肪組織由来多系統前駆細胞を用いた遺伝子導入を伴わない平滑筋再生の基礎的研究	一瀬 晃洋	美容外科	1,300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
メタボローム解析による口腔がん早期発見スクリーニング法の開発	古森 孝英	口腔外科学	2,200,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
ヒトヘルペスウイルス6による宿主免疫抑制機構の解析	森 康子	附属感染症センター	1,500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
レーザー内視鏡治療システムの開発	東 健	消化器内科	1,700,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
MDS Cに着目した自己免疫病態の解明と新規治療法開発	森信 暁雄	免疫内科学	1,400,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
炭酸ガス経皮吸収を用いた骨軟部悪性腫瘍に対する放射線治療の増強効果	秋末 敏宏	整形外科	500,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
膝前十字靭帯再建術における骨一腱間結合早期治癒に関する研究	黒坂 昌弘	整形外科	1,200,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
ワイヤーミオグラフィシステムによる血管抗攣縮薬の薬理学的作用と力価の決定	榊原 俊介	美容外科	1,900,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
マルチターゲット脂質プロファイリングによる大腸がんの早期診断バイオマーカー探索	和泉 自泰	消化器内科学	1,400,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
アミノ酸が膵β細胞量に及ぼす影響の解明	浅原 俊一郎	糖尿病・内分泌内科	1,900,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
分子標的治療薬による皮膚障害の副作用バイオマーカーの探索	山本 和宏	薬剤部	2,000,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
ヒトヘルペスウイルス6特異的な糖タンパク質g Q 1の機能解析	湯 華民	附属感染症センター	1,800,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
呼吸器免疫系におけるホスホリパーゼCεの役割	永野 達也	呼吸器内科	1,500,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
福山型筋ジストロフィーの治療を目指したαジストログリカン糖鎖修飾構造の解析	久我 敦	神経内科	1,300,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
PGC1α新規アイソフォームのエネルギー代謝制御における機能の解析	野村 和弘	糖尿病・内分泌内科	1,600,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
膵β細胞におけるインスリンシグナルのエピジェネティクス制御に関する検討	橋本 尚子	糖尿病・内分泌内科	1,900,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
膵β細胞機能調節に関するeIF2αキナーゼGCN2の機能解析	木村 真希	糖尿病・内分泌内科	1,600,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
ヒト下垂体腺腫におけるErbb2受容体ファミリー機能の解明	福岡 秀規	糖尿病・内分泌内科	1,100,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
白血病治療における神経軸索ガイダンス分子の役割	川森 有里子	腫瘍・血液内科	1,600,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
脊髄性筋萎縮症のSMN2遺伝子のスプライシングを正常化させる新規治療薬の開発	中川 卓	小児科学	1,800,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
鉄が誘導するアポトーシスに着目した肉眼的血尿を伴う急性腎傷害の病態解明	貝藤 裕史	小児科	1,500,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委
フィブロネクチン腎症の病因・病態の解明	大坪 裕美	小児科	2,000,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
紫外線誘導性皮膚発癌・皮膚炎症・白内障及び乾癬におけるホスホリパーゼC ϵ の役割	坂口 正展	皮膚科	1,300,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
悪性膠芽腫における放射線抵抗性とNF- κ B発現との関連性に関する研究	NOR SHAZRINA BINTI SULAIMAN	放射線腫瘍科	1,300,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
Redox制御を用いた抗酸化食品と生体吸収性スパーサーによる消化管防護放射線治療	原田 文	放射線腫瘍科	1,700,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
頭頸部悪性黒色腫に対する重粒子線治療における患者検体遺伝子解析による予後予測	出水 祐介	放射線腫瘍科	1,100,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
マイクロRNAによるmTORC2の制御機構の解明と治療への応用	田中 一寛	脳神経外科	1,700,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
骨折治癒過程におけるmicroRNAの関与と治療への応用	李 相亮	整形外科	1,800,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
糖化ストレス抑制による高齢者における非外傷性肩腱板断裂予防の可能性	美船 泰	リハビリテーション部	1,700,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
前立腺癌ホルモン非依存性進展および抗癌剤耐性獲得におけるIL-6の役割	酒井 伊織	泌尿器科	2,400,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
嗅上皮の発生・再生における形態形成を制御する細胞接着分子の機能解析	勝沼 紗矢香	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,600,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
Mrp4の網膜血管新生における役割の解明	楠原 仙太郎	眼科学	1,300,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
ゲノム解析による日本人の加齢黄斑変性感受性遺伝子同定	近藤 直士	眼科	1,400,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
口径1mmの再生型人工血管の実用化を目指して	高須 啓之	形成外科	1,600,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
ミトコンドリアをターゲットとした口腔癌新規治療法の開発	長谷川 巧実	歯科口腔外科	800,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
口腔内腫瘍病変の悪性化と環境因子の相関—TRPチャンネルをめぐって—	楠原 晶子	歯科口腔外科	1,600,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
宿主受容体の同定によるヘルペスウイルス侵入機構の解明	森 康子	附属感染症センター	6,900,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
PGC1 α 新規アイソフォームの機能解析を通じた運動による代謝改善機構の包括的解析	小川 渉	糖尿病・内分泌内科	5,100,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
嗅上皮と嗅球の再生機構解明に関する網羅的研究	丹生 健一	耳鼻咽喉・頭頸部外科	5,300,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
Open MRIを用いた高精度消化器癌リンパ節ナビゲーション手術システムの開発	掛地 吉弘	食道胃腸外科学	1,800,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会
消化器癌のDNA修復系遺伝子解析による抗癌剤高感受性群の同定と個別化治療の展開	掛地 吉弘	食道胃腸外科学	7,500,000	(補) 独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
二光子励起法を応用したロボット支援前立腺全摘術中ナビゲーションシステムの開発	日向 信之	泌尿器科	1,600,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
メタボロミクスによる膵β細胞機能制御機構の解明とその臨床応用	清野 進	糖尿病・内分泌内科	21,200,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
質量分析機器を用いた肝炎から肝硬変への進展予測因子の開発	斉藤 雅也	検査部	1,200,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
包括的かつ組織局所的代謝プロファイリングによる早期大腸がんバイオマーカー探索	吉江 智郎	消化器内科学	1,200,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
超高線量率マイクロビームX線を用いた放射線抵抗性腫瘍への新規がん治療法の開発	椋本 成俊	放射線腫瘍科	1,200,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
比較群を設定しない試験デザインにおける介入効果の推定方法の検討	五百蔵 武士	薬剤部治験管理室	300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
血中プラチナ濃度と副作用との関連性に関する探索的研究	久米 学	薬剤部	500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
下顎癌術後患者への咬合誘導板作成に関する検討	荒田 浩幸	医療技術部リハビリ・歯科部門	500,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
視覚障害を有する患者向けの適切な医療文書表現の研究	塚本 紗代	看護部	300,000	(補委) 独立行政法人日本学術振興会
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

小計
9
計
255

(注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Transplant	Pentraxin-3 expression in acute renal allograft rejection	Imai N, Nishi S, Yoshita K, Ito Y, Osawa Y, Takahashi K, Nakagawa Y, Saito K, Takahashi K, Narita I	腎・血液浄化センター
Endoscopy	Endoscopic double-layered suturing: a novel technique for closure of large mucosal defects after endoscopic mucosal resection (EMR) or endoscopic submucosal dissection (ESD)	Tanaka S, Toyonaga T, Obata D, Ishida T, Morita Y, Azuma T	光学医療診療部
Surg Endosc	Ex vivo pig training model for esophageal endoscopic submucosal dissection (ESD) for endoscopists with experience in gastric ESD	Tanaka S, Morita Y, Fujita T, Wakahara C, Ikeda A, Toyonaga T, Azuma T	光学医療診療部
Clin Endosc	Principles of quality controlled endoscopic submucosal dissection with appropriate dissection level and high quality resected specimen	Toyonaga T, Nishino E, Man-i M, East JE, Azuma T	光学医療診療部
Rev Col Bras Cir	Advances in the management of early esophageal carcinoma	Arantes V, Forero Forero Piñeros EA, Yoshimura K, Toyonaga T	光学医療診療部
Gastric Cancer	Endoscopic submucosal dissection for gastric neoplasm in patients with co-morbidities categorized according to the ASA Physical Status Classification	Man-i M, Morita Y, Fujita T, East JE, Tanaka S, Wakahara C, Yoshida M, Hayakumo T, Kutsumi H, Inokuchi H, Toyonaga T, Azuma T	光学医療診療部
Surg Endosc	1,635 Endoscopic submucosal dissection cases in the esophagus, stomach, and colorectum: complication rates and long-term outcomes	Toyonaga T, Man-i M, East JE, Nishino E, Ono W, Hirooka T, Ueda C, Iwata Y, Sugiyama T, Dozaiku T, Hirooka T, Fujita T, Inokuchi H, Azuma T	光学医療診療部
消化器内科	【直腸LSTの診断と治療】直腸LSTにおけるESDの有用性と安全性	森田 圭紀, 豊永 高史	光学医療診療部

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Intestine	【安全かつ効率的な大腸ESDを目指して】大腸ESDを安全かつ確実にを行うために 出血予防と止血におけるコツと対策	田中心和, 豊永高史	光学医療診療部
胃と腸	【大腸ESDの適応と実際】深達度からみた大腸ESDの実際と限界	豊永高史, 西野栄世, 横崎宏, 吉崎哲也, 河原史明, 小畑大輔, 田中心和, 石田司, 馬場慎一, 長谷川晶子, 滝原浩守, 中野利宏, 井上太郎, 尾野亘, 森田圭紀, 東健	光学医療診療部
消化器内視鏡	【必修 大腸ESD】病変のサイズと部位に応じた基本戦略	豊永高史, 西野栄世, 横崎宏, 坂井文, 吉崎哲也, 河原史朗, 小畑大輔, 田中心和, 石田司, 中村彰宏, 永田充, 長谷川晶子, 馬場慎一, 滝原浩守, 中野利宏, 井上太郎, 尾野亘, 森田圭紀, 東健	光学医療診療部
J Pharm Pharm Sci	The decrease in farnesoid X receptor, pregnane X receptor and constitutive androstane receptor in the liver after intestinal ischemia-reperfusion	Ogura J, Terada Y, Tsujimoto T, Koizumi T, Kuwayama K, Maruyama H, Fujikawa A, Takaya A, Kobayashi M, Itagaki S, Takahashi N, Hirano T, Yamaguchi H, Iseki K	薬剤部
Int J Med Sci	THRB genetic polymorphisms can predict severe myelotoxicity after definitive chemoradiotherapy in patients with esophageal squamous cell carcinoma	Miki I, Nakamura T, Kuwahara A, Yamamori M, Nishiguchi K, Tamura T, Okuno T, Omatsu H, Mizuno S, Hirai M, Azuma T, Sakaeda T	薬剤部
Int J Pharm	Regulation of human monocarboxylate transporter 4 in skeletal muscle cells: the role of protein kinase C (PKC)	Narumi K, Kobayashi M, Otake S, Furugen A, Takahashi N, Ogura J, Itagaki S, Hirano T, Yamaguchi H, Iseki K	薬剤部
Cancer Chemother Pharmacol	Transient elevation of serum cystatin C concentrations during perioperative cisplatin-based chemotherapy in esophageal cancer patients	Kume M, Yasui H, Yoshikawa Y, Horinouchi M, Higashiguchi K, Kobayashi Y, Kuroda D, Hirano T, Hirai M, Nakamura T	薬剤部
Invest New Drugs	Foretinib (GSK1363089), a multi-kinase inhibitor of MET and VEGFRs, inhibits growth of gastric cancer cell lines by blocking inter-receptor tyrosine kinase networks	Kataoka Y, Mukohara T, Tomioka H, Funakoshi Y, Kiyota N, Fujiwara Y, Yashiro M, Hirakawa K, Hirai M, Minami H	薬剤部
Drug Metab Pharmacokinet	Rapid stimulating effect of the antiarrhythmic agent amiodarone on absorption of organic anion compounds	Segawa M, Ogura J, Seki S, Itagaki S, Takahashi N, Kobayashi M, Hirano T, Yamaguchi H, Iseki K	薬剤部

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
BIOMEDICAL REPORTS	Effect of dexamethasone on extracellular secretion of cystatin C in cancer cell lines	Yamawaki C, Takahashi M, Takara K, Kume M, Hirai M, Yasui H, Nakamura T	薬剤部
Clin Biochem	Effect of the menstrual cycle on serum diamine oxidase levels in healthy women	Hamada Y, Shinohara Y, Yano M, Yamamoto M, Yoshio M, Satake K, Toda A, Hirai M, Usami M	薬剤部
薬学雑誌	スタチンの骨格筋障害に及ぼす酸・アルカリ化誘導剤の影響	小林 正紀, 日高 和宏, 知寄 郁美, 高橋 夏子, 小倉 次郎, 板垣 史郎, 平野 剛, 山口 浩明, 井関 健	薬剤部
薬学雑誌	効果発現パターンにより抗がん薬を分類するための基礎的検討	高橋 夏子, 小林 正紀, 板垣 史郎, 平野 剛, 武隈 洋, 菅原 満, 井関 健	薬剤部
Circ J	Effect of cytochrome P450 2C19 polymorphism on target lesion outcome after drug-eluting stent implantation in japanese patients receiving clopidogrel	Nishio R, Shinke T, Otake H, Sawada T, Haraguchi Y, Shinohara M, Toh R, Ishida T, Nakagawa M, Nagoshi R, Kozuki A, Inoue T, Hariki H, Osue T, Taniguchi Y, Iwasaki M, Hiranuma N, Konishi A, Kinutani H, Shite J, Hirata K	循環器内科
Circ J	Impact of stent platform of paclitaxel-eluting stents: assessment of neointimal distribution on optical coherence tomography	Otake H, Shite J, Shinke T, Miyoshi N, Kozuki A, Kawamori H, Nakagawa M, Nagoshi R, Hariki H, Inoue T, Osue T, Taniguchi Y, Hiranuma N, Nishio R, Kinutani H, Hirata K	循環器内科
Circ J	Effect of left ventricular dyssynchrony on cardiac sympathetic activity in heart failure patients with wide QRS duration	Tanaka H, Tatsumi K, Fujiwara S, Tsuji T, Kaneko A, Ryo K, Fukuda Y, Matsumoto K, Shigeru M, Yoshida A, Kawai H, Hirata K	循環器内科
Circ J	Identification of biomarkers of stent restenosis with serum metabolomic profiling using gas chromatography/mass spectrometry	Hasokawa M, Shinohara M, Tsugawa H, Bamba T, Fukusaki E, Nishiumi S, Nishimura K, Yoshida M, Ishida T, Hirata K	循環器内科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circ J	Tissue Doppler Imaging-Derived Myocardial Acceleration During Isovolumetric Contraction Predicts Pulmonary Capillary Wedge Pressure in Patients With Reduced Ejection Fraction	Salem Omar AM, Tanaka H, Matsumoto K, Tatsumi K, Miyoshi T, Hiraishi M, Tsuji T, Kaneko A, Ryo K, Fukuda Y, Kawai H, Hirata KI	循環器内科
Am J Cardiol	Left Ventricular Dyssynchrony Using Three-Dimensional Speckle-Tracking Imaging as a Determinant of Torsional Mechanics in Patients With Idiopathic Dilated Cardiomyopathy	Matsumoto K, Tanaka H, Tatsumi K, Miyoshi T, Hiraishi M, Kaneko A, Tsuji T, Ryo K, Fukuda Y, Yoshida A, Kawai H, Hirata KI	循環器内科
Echocardiography	Efficacy of Longitudinal Speckle Tracking Strain in Conjunction with Isometric Handgrip Stress Test for Detection of Ischemic Myocardial Segments	Ryo K, Tanaka H, Kaneko A, Fukuda Y, Onishi T, Kawai H, Hirata KI	循環器内科
Am J Cardiol	Relation Between Strain Dyssynchrony Index Determined by Comprehensive Assessment Using Speckle-Tracking Imaging and Long-Term Outcome After Cardiac Resynchronization Therapy for Patients With Heart Failure	Tatsumi K, Tanaka H, Matsumoto K, Kaneko A, Tsuji T, Ryo K, Fukuda Y, Norisada K, Onishi T, Yoshida A, Kawai H, Hirata KI	循環器内科
Int J Cardiovasc Imaging	Beneficial effect of anti-platelet therapies on atherosclerotic lesion formation assessed by phase-contrast X-ray CT imaging	Takeda M, Yamashita T, Shinohara M, Sasaki N, Tawa H, Nakajima K, Momose A, Hirata KI	循環器内科
Echocardiography	Regional Heterogeneity of Systolic Dysfunction Is Associated with Ventricular Dyssynchrony in Patients with Idiopathic Dilated Cardiomyopathy and Narrow QRS Complex	Matsumoto K, Tanaka H, Tatsumi K, Kaneko A, Tsuji T, Ryo K, Kawai H, Hirata KI	循環器内科
J Biol Chem	Osteoblast-like differentiation of cultured human coronary artery smooth muscle cells by bone morphogenetic protein endothelial cell precursor-derived regulator (BMPER)	Satomi-Kobayashi S, Kinugasa M, Kobayashi R, Hatakeyama K, Kurogane Y, Ishida T, Emoto N, Asada Y, Takai Y, Hirata K, Rikitake Y	循環器内科
J Cardiovasc Electrophysiol	Rate-Dependent and Site-Specific Conduction Block at the Posterior Right Atrium and Drug Effects Evaluated Using a Noncontact Mapping System in Patients with Typical Atrial Flutter	Takami M, Yoshida A, Fukuzawa K, Takei A, Kanda G, Takami K, Kumagai H, Tanaka S, Itoh M, Imamura K, Fujiwara R, Suzuki A, Hirata KI	循環器内科
Eur Heart J Cardiovasc Imaging	Multidirectional left ventricular performance detected with three-dimensional speckle-tracking strain in patients with chronic right ventricular pacing and preserved ejection fraction	Tanaka H, Matsumoto K, Hiraishi M, Miyoshi T, Kaneko A, Tsuji T, Ryo K, Fukuda Y, Tatsumi K, Yoshida A, Kawai H, Hirata K	循環器内科
Clin Chem	ELISA system for human endothelial lipase	Ishida T, Miyashita K, Shimizu M, Kinoshita N, Mori K, Sun L, Yasuda T, Imamura S, Nakajima K, Stanhope KL, Havel PJ, Hirata K	循環器内科

小計

10

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Am Soc Echocardiogr	Contractile reserve assessed by three-dimensional global circumferential strain as a predictor of cardiovascular events in patients with idiopathic dilated cardiomyopathy	Matsumoto K, Tanaka H, Kaneko A, Ryo K, Fukuda Y, Tatsumi K, Kawai H, Hirata K	循環器内科
Am J Cardiol	Utility of combined assessment of baseline dyssynchrony and its acute improvement to predict long-term outcomes after cardiac resynchronization therapy	Imanishi J, Tanaka H, Matsumoto K, Tatsumi K, Miyoshi T, Hiraishi M, Kaneko A, Ryo K, Fukuda Y, Yoshida A, Yokoyama M, Kawai H, Hirata K	循環器内科
Circ J	Efficacy of right ventricular free-wall longitudinal speckle-tracking strain for predicting long-term outcome in patients with pulmonary hypertension	Motoji Y, Tanaka H, Fukuda Y, Ryo K, Emoto N, Kawai H, Hirata K	循環器内科
Circ J	Qualitative and quantitative assessment of stent restenosis by optical coherence tomography-comparison between drug-eluting and bare-metal stents	Nagoshi R, Shinke T, Otake H, Shite J, Matsumoto D, Kawamori H, Nakagawa M, Kozuki A, Hariki H, Inoue T, Osue T, Taniguchi Y, Iwasaki M, Nishio R, Hiranuma N, Konishi A, Kinutani H, Miyoshi N, Takaya T, Yamada S, Yasaka Y, Hayashi T, Yokoyama M, Kato H, Kadotani M, Ohnishi Y, Hirata K	循環器内科
Clin Chim Acta	Fasting serum concentration of apolipoprotein B48 represents residual risks in patients with new-onset and chronic coronary artery disease	Mori K, Ishida T, Yasuda T, Monguchi T, Sasaki M, Kondo K, Hasokawa M, Nakajima H, Haraguchi Y, Sun L, Shinohara M, Toh R, Nishimura K, Hirata KI	循環器内科
Echocardiography	Impact of preserved myocardial contractile function in the segments attached to the papillary muscles on reduction in functional mitral regurgitation	Tatsumi K, Tanaka H, Kataoka T, Norisada K, Onishi T, Kawai H, Hirata K	循環器内科
Eur Heart J Cardiovasc Imaging	Natural consequence of post-intervention stent malapposition, thrombus, tissue prolapse, and dissection assessed by optical coherence tomography at mid-term follow-up	Kawamori H, Shite J, Shinke T, Otake H, Matsumoto D, Nakagawa M, Nagoshi R, Kozuki A, Hariki H, Inoue T, Osue T, Taniguchi Y, Nishio R, Hiranuma N, Hirata KI	循環器内科
臨床画像	その検査、本当にそこまで必要ですか？ 経過観察のストラテジー【第4回】 呼吸器・縦隔 腫瘍性疾患	大野 良治, 吉川 武, 松本純明, 関 紳一郎, 西尾 瑞穂, 神山 久信, 杉村 和朗, 尾西 由美子, 真庭 謙昌, 西村 善博	放射線科、呼吸器内科、血管内治療センター
日本緩和医療薬学雑誌	プロクロルペラジンにより横紋筋融解症を来した1例	紀平 裕美, 打保 裕子, 太田垣 加奈子, 坂下 明大, 久米 学, 平野 剛, 西村 善博, 平井 みどり	呼吸器内科、薬剤部
実験医学	福山型筋ジストロフィーの病的スプライシング異常とアンチセンス療法	谷口(池田)真理子, 小林千浩, 戸田達史	神経内科
神経内科	【遺伝性筋疾患の新たな治療戦略】福山型筋ジストロフィーの新たな病態とアンチセンス療法	戸田 達史, 谷口 真理子 [池田], 小林 千浩	神経内科

小計

11

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Dementia Japan	【神経変性疾患のゲノム・遺伝学研究】 孤発性パーキンソン病のリスク遺伝子	佐竹 渉, 戸田 達史	神経内科
BIO Clinica	【神経筋疾患の分子標的治療開発】 福山型筋ジストロフィーの分子標的治療	戸田 達史, 谷口 真理子 [池田], 小林 千浩	神経内科
細胞	【RNAバイオロジーの最先端】 福山型先天性筋ジストロフィーの発症機序と治療戦略	谷口 真理子 [池田], 戸田 達史	神経内科
Annual Review神経	各種疾患 神経筋疾患 福山型筋ジストロフィーの分子病態と治療	戸田 達史	神経内科
BRAIN and NERVE: 神経研究の進歩	【次世代シーケンサーによる神経変性疾患の解析と展望】 パーソナルゲノム研究と神経疾患 overview	戸田 達史	神経内科
Growth Horm IGF Res	Enhanced oxidative stress in GH-transgenic rat and acromegaly in humans	Nishizawa H, Handayaningsih AE, Iguchi G, Cho Y, Takahashi M, Yamamoto M, Suda K, Kasahara K, Hakuno F, Yamanouchi K, Nishihara M, Seino S, Takahashi SI, Takahashi Y	糖尿病・内分泌内科
Mol Cell Biol	Retinol-binding protein 4 inhibits insulin signaling in adipocytes by inducing proinflammatory cytokines in macrophages through a c-Jun N-terminal kinase- and toll-like receptor 4-dependent and retinol-independent mechanism	Norseen J, Hosooka T, Hammarstedt A, Yore MM, Kant S, Aryal P, Kiernan UA, Phillips DA, Maruyama H, Kraus BJ, Usheva A, Davis RJ, Smith U, Kahn BB	糖尿病・内分泌内科
Exp Clin Endocrinol Diabetes	Growth hormone deficiency in 2 siblings associated with combined GH1 gene polymorphisms	Yamamoto M, Iguchi G, Fukuoka H, Miyako K, Takahashi Y	糖尿病・内分泌内科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diabetes Technol Ther	A minimally invasive system for glucose area under the curve measurement using interstitial fluid extraction technology: evaluation of the accuracy and usefulness with oral glucose tolerance tests in subjects with and without diabetes	Sakaguchi K, Hirota Y, Hashimoto N, Ogawa W, Sato T, Okada S, Hagino K, Asakura Y, Kikkawa Y, Kojima J, Maekawa Y, Nakajima H	糖尿病・内分泌内科
Biochem Biophys Res Commun	GH-independent IGF-I action is essential to prevent the development of nonalcoholic steatohepatitis in a GH-deficient rat model	Nishizawa H, Takahashi M, Fukuoka H, Iguchi G, Kitazawa R, Takahashi Y	糖尿病・内分泌内科
Eur J Endocrinol	Nonalcoholic fatty liver disease in adult hypopituitary patients with GH deficiency and the impact of GH replacement therapy	Nishizawa H, Iguchi G, Murawaki A, Fukuoka H, Hayashi Y, Kaji H, Yamamoto M, Suda K, Takahashi M, Seo Y, Yano Y, Kitazawa R, Kitazawa S, Koga M, Okimura Y, Chihara K, Takahashi Y	糖尿病・内分泌内科
Biochem Biophys Res Commun	IGF-I enhances cellular senescence via the reactive oxygen species-p53 pathway	Handayaningsih AE, Takahashi M, Fukuoka H, Iguchi G, Nishizawa H, Yamamoto M, Suda K, Takahashi Y	糖尿病・内分泌内科
Diabetes Res Clin Pract	C-peptide response to glucagon challenge is correlated with improvement of early insulin secretion by liraglutide treatment	Takabe M, Matsuda T, Hirota Y, Hashimoto N, Nakamura T, Sakaguchi K, Ogawa W, Seino S	糖尿病・内分泌内科
Endocr J	Efficacy of combined octreotide and cabergoline treatment in patients with acromegaly: a retrospective clinical study and review of the literature	Suda K, Inoshita N, Iguchi G, Fukuoka H, Takahashi M, Nishizawa H, Yamamoto M, Yamada S, Takahashi Y	糖尿病・内分泌内科
Methods Mol Biol	Optimizing RNA/ENA chimeric antisense oligonucleotides using in vitro splicing	Takeshima Y, Yagi M, Matsuo M	小児科
Pediatrics	Focal segmental glomerulosclerosis in patients with complete deletion of one WT1 allele	Iijima K, Someya T, Ito S, Nozu K, Nakanishi K, Matsuoka K, Ohashi H, Nagata M, Kamei K, Sasaki S	小児科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pediatr Int	Acetaminophen administration in a patient with Gilbert's syndrome	Nakagawa T, Mure T, Yusoff S, Ono E, Harahap IS, Morikawa S, Morioka I, Takeshima Y, Nishio H, Matsuo M	小児科
Gene	A Japanese child with geleophysic dysplasia caused by a novel mutation of FBN1	Lee T, Takeshima Y, Okizuka Y, Hamahira K, Kusunoki N, Awano H, Yagi M, Sakai N, Matsuo M, Iijima K	小児科
J Hum Genet	Molecular characterization of an X(p21.2;q28) chromosomal inversion in a Duchenne muscular dystrophy patient with mental retardation reveals a novel long non-coding gene on Xq28	Tran TH, Zhang Z, Yagi M, Lee T, Awano H, Nishida A, Okinaga T, Takeshima Y, Matsuo M	小児科
Am J Cardiol	Utility of transmural myocardial strain profile for prediction of early left ventricular dysfunction in patients with Duchenne muscular dystrophy	Yamamoto T, Tanaka H, Matsumoto K, Lee T, Awano H, Yagi M, Imanishi T, Hayashi N, Takeshima Y, Kawai H, Kawano S, Hirata K	小児科
Eur J Radiol	Comparison of capability of dynamic 0(2)-enhanced MRI and quantitative thin-section MDCT to assess COPD in smokers	Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Matsumoto K, Aoyama N, Onishi Y, Takenaka D, Matsumoto S, Nishimura Y, Sugimura K	放射線科
J Vasc Surg	Endovascular creation of aortic dissection in a swine model with technical considerations	Okuno T, Yamaguchi M, Okada T, Takahashi T, Sakamoto N, Ueshima E, Sugimura K, Sugimoto K	放射線科、 血管内治療 センター
Eur J Radiol	Reduced-dose chest CT with 3D automatic exposure control vs. standard chest CT: Quantitative assessment of emphysematous changes in smokers' lung	Koyama H, Ohno Y, Yamazaki Y, Matsumoto K, Onishi Y, Takenaka D, Yoshikawa T, Nishio M, Matsumoto S, Murase K, Nishimura Y, Sugimura K	放射線科
J Med Imaging Radiat Oncol	Magnetic resonance imaging (MRI) of articular cartilage of the knee using ultrashort echo time (uTE) sequences with spiral acquisition	Goto H, Fujii M, Iwama Y, Aoyama N, Ohno Y, Sugimura K	放射線科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur J Radiol	A preliminary study of the T1rho values of normal knee cartilage using 3T-MRI	Goto H, Iwama Y, Fujii M, Aoyama N, Kubo S, Kuroda R, Ohno Y, Sugimura K	放射線科
J Magn Reson Imaging	Contrast-enhanced multidetector-row computed tomography vs. Time-resolved magnetic resonance angiography vs. contrast-enhanced perfusion MRI: assessment of treatment response by patients with inoperable chronic thromboembolic pulmonary hypertension	Ohno Y, Koyama H, Yoshikawa T, Nishio M, Matsumoto S, Matsumoto K, Aoyama N, Nogami M, Murase K, Sugimura K	放射線科
Eur J Radiol	CT hepatic perfusion measurement: comparison of three analytic methods	Kanda T, Yoshikawa T, Ohno Y, Kanata N, Koyama H, Takenaka D, Sugimura K	放射線科、放射線部
AJR Am J Roentgenol	Emphysema quantification by low-dose CT: potential impact of adaptive iterative dose reduction using 3D processing	Nishio M, Matsumoto S, Ohno Y, Sugihara N, Inokawa H, Yoshikawa T, Sugimura K	放射線科
AJR Am J Roentgenol	Oxygen-enhanced MRI, thin-section MDCT, and perfusion SPECT/CT: comparison of clinical implications to patient care for lung volume reduction surgery	Ohno Y, Nishio M, Koyama H, Yoshikawa T, Matsumoto S, Takenaka D, Sugimura K	放射線科
AJR Am J Roentgenol	Adaptive iterative dose reduction using 3D processing for reduced- and low-dose pulmonary CT: comparison with standard-dose CT for image noise reduction and radiological findings	Ohno Y, Takenaka D, Kanda T, Yoshikawa T, Matsumoto S, Sugihara N, Sugimura K	放射線科
Eur J Radiol	Perfusion measurement of the whole upper abdomen of patients with and without liver diseases: initial experience with 320-detector row CT	Kanda T, Yoshikawa T, Ohno Y, Fujisawa Y, Kanata N, Yamaguchi M, Seo Y, Yano Y, Koyama H, Kitajima K, Takenaka D, Sugimura K	放射線科、放射線部
Eur J Radiol	Hepatic CT perfusion measurements: a feasibility study for radiation dose reduction using new image reconstruction method	Negi N, Yoshikawa T, Ohno Y, Somiya Y, Sekitani T, Sugihara N, Koyama H, Kanda T, Kanata N, Murakami T, Kawamitsu H, Sugimura K	放射線科
Eur J Radiol	Low-dose non-enhanced CT versus full-dose contrast-enhanced CT in integrated PET/CT scans for diagnosing ovarian cancer recurrence	Kitajima K, Ueno Y, Suzuki K, Kita M, Ebina Y, Yamada H, Senda M, Maeda T, Sugimura K	放射線科

小計

9

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Magn Reson Imaging	HCC-to-liver contrast on arterial-dominant phase images of EOB-enhanced MRI: comparison with dynamic CT	Kanata N, Yoshikawa T, Ohno Y, Kanda T, Uchida K, Izaki K, Fukumoto T, Ku Y, Itoh T, Kitajima K, Takahashi S, Sugimura K	放射線科
Eur J Radiol	Computer-aided detection of lung nodules on multidetector CT in concurrent-reader and second-reader modes: A comparative study	Matsumoto S, Ohno Y, Aoki T, Yamagata H, Nogami M, Matsumoto K, Yamashita Y, Sugimura K	放射線科
Eur J Radiol	Pulmonary MR imaging with ultra-short TEs: Utility for disease severity assessment of connective tissue disease patients	Ohno Y, Nishio M, Koyama H, Takenaka D, Takahashi M, Yoshikawa T, Matsumoto S, Obara M, van Cauteren M, Sugimura K	放射線科
画像診断	【advanced MRI/CTの臨床応用と近未来】 胸部領域におけるultra-short TE	大野 良治, 西尾 瑞穂, 神山 久信, 吉川 武, 松本 純明, 杉村 和朗	放射線科、 血管内治療 センター
臨床画像	【悪性腫瘍-その合理的な画像診断の進め方】 再発チェックを合理的に行うには 肺癌	大野 良治, 関 紳一郎, 西尾 瑞穂, 尾西 由美子, 神山 久信, 吉川 武, 松本 純明, 真庭 謙昌, 西村 善博, 杉村 和朗	放射線科、 呼吸器内 科、血管内 治療セン ター
映像情報Medical	【腹部画像診断の今~エキスパートによるポイント解説】 腹部 Perfusion CT	吉川 武, 大野 良治, 神田 知紀, 金田 直樹, 神山 久信, 西尾 瑞穂, 根宜 典行, 村上 徹, 杉村 和朗	放射線科、 血管内治療 センター
Radiother Oncol	A phase I/II study of gemcitabine-concurrent proton radiotherapy for locally advanced pancreatic cancer without distant metastasis	Terashima K, Demizu Y, Hashimoto N, Jin D, Mima M, Fujii O, Niwa Y, Takatori K, Kitajima N, Sirakawa S, Yonson K, Hishikawa Y, Abe M, Sasaki R, Sugimura K, Murakami M	放射線科、 放射線腫瘍 科
Eur J Dermatol	Human papilloma virus type 16-associated verruca vulgaris on the digits with multiple cancerous anogenital lesions	Ibusuki C, Kunisada M, Ogura K, Ikeda T, Oda Y, Nishigori C	皮膚科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Br J Dermatol	Successful and long-lasting treatment of solar urticaria with ultraviolet A rush hardening therapy	Masuoka E, Fukunaga A, Kishigami K, Jimbo H, Nishioka M, Uchimura Y, Taguchi K, Ohgou N, Nishigori C	皮膚科
J Dermatol	Successful treatment with adapalene of cetuximab-induced acneiform eruptions	Taguchi K, Fukunaga A, Okuno T, Nishigori C	皮膚科
J Dermatol	Connexin 26 (GJB2) mutations in keratitis-ichthyosis-deafness syndrome presenting with squamous cell carcinoma	Sakabe JI, Yoshiki R, Sugita K, Haruyama S, Sawada Y, Kabashima R, Bito T, Nakamura M, Tokura Y	皮膚科
J Dermatol	Suppressive effect of recombinant human thioredoxin on ultraviolet light-induced inflammation and apoptosis in murine skin	Ono R, Masaki T, Dien S, Yu X, Fukunaga A, Yodoi J, Nishigori C	皮膚科
Photochem Photobiol	Hydrochlorothiazide Enhances UVA-Induced DNA Damage	Kunisada M, Masaki T, Ono R, Morinaga H, Nakano E, Yogiati F, Okunishi K, Sugiyama H, Nishigori C	皮膚科
J Dermatol Sci	Ancient origin of a Japanese xeroderma pigmentosum founder mutation	Imoto K, Nadem C, Moriwaki S, Nishigori C, Oh KS, Khan SG, Goldstein AM, Kraemer KH	皮膚科
Derma.	【多様化する光線過敏症】 先天性光線過敏症の概説と最新の知見	竹内 聖二, 錦織 千佳子	皮膚科
日本医事新報	紫外線発癌の機序とその予防(前編)	錦織 千佳子	皮膚科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本皮膚科学会雑誌	難治性重症尋常性天疱瘡に対してリツキシマブを使用した1例	鷲尾 健, 鬼木 俊太郎, 辻本 昌理子, 後藤 典子, 一角 直行, 川田 裕味子, 廣本 敦子, 山田 陽三, 永井 宏, 錦織 千佳子	皮膚科
Journal of Environmental Dermatology and Cutaneous Allergology	多彩な神経症状を呈し、再燃時に皮疹を認めたジアフェニルスルホンによるDIHSの1例	辻本 昌理子, 山田 陽三, 濱岡 大, 清水 秀樹, 川森 有里子, 薬師神 公和, 荒井 隆志, 平岡 栄治, 錦織 千佳子	皮膚科
Derma.	【顔面の腫瘍 鑑別診断と治療】 色素性乾皮症に合併する顔面の皮膚腫瘍	小野 竜輔, 錦織 千佳子	皮膚科
手術	【消化器癌拡大手術の最新手技】 高度脈管浸潤を伴う肝細胞癌に対する拡大手術	田中 基文, 福本 巧, 木戸 正浩, 武部 敦志, 高橋 応典, 具 英成	肝胆膵外科
ISRN Obstet Gynecol	A high dose intravenous immunoglobulin therapy for women with four or more recurrent spontaneous abortions	Yamada H, Takeda M, Maezawa Y, Ebina Y, Hazama R, Tanimura K, Wakui Y, Shimada S	産科婦人科
J Obstet Gynaecol Res	Argatroban therapy for heparin-induced thrombocytopenia during pregnancy in a woman with hereditary antithrombin deficiency	Tanimura K, Ebina Y, Sonoyama A, Morita H, Miyata S, Yamada H	産科婦人科
J Reprod Immunol	A trial of immunoglobulin fetal therapy for symptomatic congenital cytomegalovirus infection	Japanese Congenital Cytomegalovirus Infection Immunoglobulin Fetal Therapy Study Group	産科婦人科
J Med Virol	Low IgG avidity and ultrasound fetal abnormality predict congenital cytomegalovirus infection	Sonoyama A, Ebina Y, Morioka I, Tanimura K, Morizane M, Tairaku S, Minematsu T, Inoue N, Yamada H	産科婦人科、周産母子センター

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
関東連合産科婦人科学会誌	早期卵巣癌を対象とした新規臨床試験 卵巣癌の臨床試験におけるPET-CTの導入とその問題点について	蝦名 康彦, 白川 得朗, 山崎 友維, 牧原 夏子, 宮原 義也, 新谷 潔, 中林 幸士, 山田 秀人	産科婦人科
産婦人科の進歩	卵巣癌・腹膜癌症例における胸・腹水セルブロック法の有用性の検討	山崎 友維, 蝦名 康彦, 白川 得朗, 牧原 夏子, 宮原 義也, 新谷 潔, 中林 幸士, 山田 秀人	産科婦人科
Acta Neurochir (Wien)	Endoscopic endonasal removal of laterally extended clival chordoma using side-viewing scopes	Taniguchi M, Kohmura E	脳神経外科
AJNR Am J Neuroradiol	A preliminary prediction model with MR plaque imaging to estimate risk for new ischemic brain lesions on diffusion-weighted imaging after endarterectomy or stenting in patients with carotid stenosis	Akutsu N, Hosoda K, Fujita A, Kohmura E	脳神経外科
Neuroradiology	Preoperative detection of the facial nerve by high-field magnetic resonance imaging in patients with vestibular schwannoma	Nakai T, Yamamoto H, Tanaka K, Koyama J, Fujita A, Taniguchi M, Hosoda K, Kohmura E	脳神経外科
J Neurooncol	GC/MS-based metabolomic analysis of cerebrospinal fluid (CSF) from glioma patients	Nakamizo S, Sasayama T, Shinohara M, Irino Y, Nishiumi S, Nishihara M, Tanaka H, Tanaka K, Mizukawa K, Itoh T, Taniguchi M, Hosoda K, Yoshida M, Kohmura E	脳神経外科
Cell Transplant	Local transplantation of ex vivo expanded bone marrow-derived CD34-positive cells accelerates fracture healing	Kawakami Y, Ii M, Alev C, Kawamoto A, Matsumoto T, Kuroda R, Shoji T, Fukui T, Masuda H, Akimaru H, Mifune Y, Kuroda T, Horii M, Yokoyama A, Kurosaka M, Asahara T	整形外科
Eur Spine J	Development of percutaneously insertable/removable interspinous process spacer for treatment of posture-dependent lumbar spinal-canal stenosis: preclinical feasibility study using porcine model	Nishida K, Doita M, Kakutani K, Maeno K, Yurube T, Kurosaka M	整形外科
骨折	偽関節患者を対象とした自家末梢血CD34陽性細胞移植による骨・血管再生療法(第一報)	新倉 隆宏, 黒田 良祐, 松本 知之, 李 相亮, 川上 洋平, 黒坂 昌弘	整形外科
日本鼻科学会会誌	鼻腔・副鼻腔腫瘍の切除と再建 鼻副鼻腔悪性腫瘍に対する手術治療 頭蓋底手術の紹介	土井 清司, 丹生 健一	耳鼻咽喉・頭頸部外科
日本耳鼻咽喉科学会会報	頭頸部癌に対する分子標的治療	丹生 健一, 大月 直樹, 清田 尚臣	耳鼻咽喉・頭頸部外科

小計

11

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
JOHNS	【頭頸部扁平上皮癌の最新情報】 特殊な領域の扁平上皮癌 唾液腺の 扁平上皮癌	大月 直樹, 平井 千保子, 伊藤 智雄, 丹生 健一	耳鼻咽喉・頭 頸部外科
頭頸部癌	中咽頭癌に対する同時併用化学放射 線療法における経皮内視鏡的胃瘻造 設術の有用性についての検討	高橋 美貴, 竹本 菜保子, 佐 野 彩香, 木内 亮平, 松澤 洋子, 佐竹 久美子, 濱田 康 弘, 谷本 均, 齋藤 幹, 大月 直樹, 丹生 健一, 宇佐美 眞	耳鼻咽喉・頭 頸部外科、 栄養管理部
頭頸部癌	切除不能頭頸部癌に対する Sequential therapyの安全性に関す る後向き研究	島田 貴信, 清田 尚臣, 西 村 英輝, 大月 直樹, 佐々 木 良平, 丹生 健一	耳鼻咽喉・頭 頸部外科、 放射線腫瘍 科
静脈経腸栄養	中咽頭癌に対する同時併用化学放射 線療法における経皮内視鏡的胃瘻造 設術を用いた栄養管理	高橋 美貴, 竹本 菜保子, 佐野 彩香, 木内 亮平, 松 澤 洋子, 脇田 久美子, 濱 田 康弘, 谷本 均, 齋藤 幹, 大月 直樹, 丹生 健 一, 宇佐美 眞	耳鼻咽喉・頭 頸部外科
頭頸部癌	がん切除後下顎骨再建における新し い理論「CATコンセプト」(第1報) その概念と妥当性の検討	橋川 和信, 杉山 大典, 横 尾 聡, 田原 真也	形成外科

小計
5計
119

(注) 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 杉村和朗
管理担当者氏名	薬剤部長 平井みどり 総務課長 山腰俊昭 管理課長 福山麻梨子 研究支援課長 木村功 医事課長 石坂雅志

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		診療録センター (エックス線写真 →各診療科、処方せん→薬剤部、病院日誌→総務課)	病歴資料については診療録センターで集中管理を行い、エックス線写真、処方せん、病院日誌は当該担当部署において、保管している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課		
	高度の医療の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究支援課		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
	項規第一号に掲げる第一項各号の及び第九条の二十三第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医事課		
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医事課		
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		医事課		
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課			
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課			

(様式第12)

		保 管 場 所	管 理 方 法
病 院 の 管 運 理 及 び 関 連 諸 記 録	規 則 第 一 条 の 十 一 第 一 項 各 号 及 び 第 九 条 の 二 十 三 第 一 項 第 一 号 に 掲 げ る 体 制 の 確 保 の 状 況	院 内 感 染 対 策 の た め の 指 針 の 策 定 状 況	医 事 課
		院 内 感 染 対 策 の た め の 委 員 会 の 開 催 状 況	医 事 課
		従 業 者 に 対 す る 院 内 感 染 対 策 の た め の 研 修 の 実 施 状 況	医 事 課
		感 染 症 の 発 生 状 況 の 報 告 そ の 他 の 院 内 感 染 対 策 の 推 進 を 目 的 と し た 改 善 の た め の 方 策 の 実 施 状 況	医 事 課
		医 薬 品 の 使 用 に 係 る 安 全 な 管 理 の た め の 責 任 者 の 配 置 状 況	医 事 課 薬 剤 部
		従 業 者 に 対 す る 医 薬 品 の 安 全 使 用 の た め の 研 修 の 実 施 状 況	医 事 課 薬 剤 部
		医 薬 品 の 安 全 使 用 の た め の 業 務 に 関 す る 手 順 書 の 作 成 及 び 当 該 手 順 書 に 基 づ く 業 務 の 実 施 状 況	医 事 課 薬 剤 部
		医 薬 品 の 安 全 使 用 の た め に 必 要 と な る 情 報 の 収 集 そ の 他 の 医 薬 品 の 安 全 使 用 を 目 的 と し た 改 善 の た め の 方 策 の 実 施 状 況	医 事 課 薬 剤 部
		医 療 機 器 の 安 全 使 用 の た め の 責 任 者 の 配 置 状 況	管 理 課
		従 業 者 に 対 す る 医 療 機 器 の 安 全 使 用 の た め の 研 修 の 実 施 状 況	管 理 課
		医 療 機 器 の 保 守 点 検 に 関 す る 計 画 の 策 定 及 び 保 守 点 検 の 実 施 状 況	管 理 課
		医 療 機 器 の 安 全 使 用 の た め に 必 要 と な る 情 報 の 収 集 そ の 他 の 医 療 機 器 の 安 全 使 用 を 目 的 と し た 改 善 の た め の 方 策 の 実 施 状 況	管 理 課

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 杉村 和朗
閲覧担当者氏名	薬剤部長 平井 みどり 総務課長 山腰 俊昭 管理課長 福山 麻梨子 研究支援課長 木村 功 医事課長 石坂 雅志
閲覧の求めに応じる場所	応接室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	85.1 %	算定期間	平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	17,513人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	21,746人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	910人	
	D: 初診の患者の数	25,454人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
・ 指針の主な内容： 1. 医療安全の考え方 2. 医療事故発生時の対応 3. 医療事故等発生時の関連機関連絡先 4. インシデント報告システム 5. 医療安全に関する内規集	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： ・ 病院における医療安全管理対策の策定及び変更 ・ 医療安全管理のための研修及び教育計画の策定 ・ 重要なインシデントに関する分析・改善策の検討・対応の決定について ・ その他、医療安全に関する全般事項	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 24 回
・ 研修の主な内容： ①医療安全管理に関する職員必修講習会（感染対策、医療機器関係含む 年2回以上）②研修医、看護師、技官、外部委託職員に対する採用時研修③医学部学生に対する医療安全管理に関する卒前教育④その他、医療安全に関連する講習会（適宜）	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 （有 ・ 無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： イ. 医療スタッフポケットマニュアルの配付、ロ. 薬剤情報検索システム ハ. 持参薬の病棟薬剤師による処方チェックシステム、 ニ. 是正処置実施計画書・報告書の作成、ホ. 院内巡回の定期化 ヘ. 医薬品及び医療機器安全管理委員会を整備、ト. 医療安全組織の改組 チ. チームによるインシデント報告、リ. 手術安全チェックリストの導入及び他部門の拡大 ス. 2色塗二酸化炭素ボンベの導入	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（ 4 名） ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 7 名） ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
・ 所属職員： 専任（ 4 ）名 兼任（ 19 ）名 ・ 活動の主な内容： （1）インシデント審議依頼やヒヤリ・ハット事例に関する情報の収集 （2）収集された情報とその分析に基づき、病院内で具体的な対策の企画、実施 （3）医療現場への的確な情報の提供 （4）医療安全管理マニュアルの作成 （5）医療事故防止の教育・学習の展開等の任務を行う （6）医療相談の報告に基づく指導	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じられる体制の確保状況	有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
<p>指針の主な内容：</p> <p>院内感染対策に関する基本的考え方、院内感染対策のための委員会・組織、院内感染対策のための職員等に対する研修に関する基本方針、院内感染発生時の対応（報告体制含む）に関する基本方針、患者・家族等に対する指導およびインフォームドコンセントと当該指針の閲覧に関する基本方針、その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針（サーベイランス・院内ラウンド、コンサルテーション・職業感染対策・マニュアルの編集・院内環境の整備・地域連携）</p>	
② 院内感染のための委員会の開催状況	院内感染対策委員会…年12回(月1回実施) 感染制御部会…年12回(月1回実施)
<p>活動の主な内容：</p> <p>MRSA及び耐性菌の検出報告、アウトブレイク疑い対応、院内ラウンド、医療関連サーベイランス、リンクナース会および感染制御部連絡会議開催、職業感染予防対策（結核曝露対策、ワクチン接種、針刺し・切創予防など）、院内感染予防マニュアルの改訂、院内研修（必修講習会、ICP講習会など）の計画・実施。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 47 回
<p>研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規採用者全員対象に、院内感染防止対策の基本と針刺し予防の講義およびデモンストレーション。 全職種に対して、職員必修講習会として年2回（職員全体で同じ内容を計17回実施）、医療安全部門と共に時期に応じて院内感染対策上重要なポイントおよびトピックスや実例について講演。 職種別（医師、看護師、診療技術部門、委託業者等）対象に、各々年2～14回、各職種に応じた現場で遵守すべき感染対策の知識や技術について講義やトレーニング。 多剤耐性菌のアウトブレイクや新興感染症発生時など、海外や国内で新たな問題が生じた際の緊急職員集会。 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>病院における発生状況の報告等の整備 ((有) ・ 無)</p> <p>感染症法に決められている届け出が必要な感染症の報告体制および、感染対策上重要な感染症に対する感染制御部・救急部による監視体制のマニュアル化。</p> <p>その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期（週1回）抗菌薬の使用状況と感染対策実施状況を確認（ラウンド）し、必要時指導。 抗菌薬使用状況調査し毎週開催の抗菌薬適正使用プロジェクトで抗菌薬の使用法を検討し、随時介入指導。 現場医療従事者からのコンサルテーションをうけて、随時対応。 侵襲処置・医療器具関連感染、針刺し・切創のサーベイランスを実施。 血流感染、手術創感染、血液・体液等のサーベイランスを実施。 職員のワクチン接種プログラム（B型肝炎、麻疹、風疹、水痘、ムンプス）を計画・実施。 医学科学生（BSL前）及び保健学科学生の実習前に、感染防止対策の講義および手指衛生や個人防護用具の演習を実施。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
②	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 麻薬などの取り扱いについて 	
③	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 ((有) ・ 無) ・ 業務の主な内容： 医薬品の採用・購入、調剤、服薬指導、安全使用に関する内容、ハイリスク薬に関する事項 	
④	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ((有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ● 重大な事例は、医療の質・安全管理部ミーティング、医薬品安全管理委員会にて報告や改善策の検討を行っている。 ● 必要な情報は、外来、病棟等の各部署に紙媒体で配布すると共に、病院情報システムへの掲載を行っている。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 13 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 人工呼吸器、輸液・シリンジポンプ、除細動器、血液浄化装置についての操作方法及び、管理上の注意点とトラブルシューティングについて。 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の作成 ((有) ・ 無) ・ 保守点検の主な内容： 院内の臨床工学技士による、定期点検（定期消耗品交換含む）と、製造販売メーカ実施における点検報告書の管理。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ((有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器に関する安全情報の提供と不具合報告の連絡体制の整備。 医療情報端末（電子カルテ）を用いての安全情報の共有 	